

原発がこわい女たちの会

http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

◀ 2016年10月 | トップ

検索

2016年11月15日(火)

検索

琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会

アーカイブ

琵琶湖の直ぐ横にあるピアザ淡海にて開かれた11・13琵琶湖集会に参加してきました。13:30～16:30 休憩はたった3分間でした。終了時間もオーバーしました。参加者は福井、関西を中心に80名余。密度の濃い良い集会でした。が、私(松浦)は17:10分発の膳所から姫路行きJR京都線に乗らないと、特急くろしおとの連係が悪いので、駅まで駆け足でした。



集会はアイリーン・スミスさんの実行委員会挨拶の後

[1部]老朽原発は廃炉に

◆トップバッターはゲストの鹿島啓一弁護士でした。最初に福井県の水晶浜を映し、このきれいな水晶浜を残したいと言われました。

美浜3号機は

2016年10月5日 設置変更許可 10月26日 工事計画認可
11月30日までに運転延長認可が受けられなければ廃炉
認可されれば使用前検査に合格した日から延長
原子炉等規制法の第43条の3の32(運転の期間等)は福島事故後に出来た
ものだ。
これが原子炉の①40年ルール。この法律に②原子力規制委員会の認可を受け
て一回に限り延長できる。③この延長する期間は20年を越えない。
この法律を使って40年稼働した原子炉をあと20年動かそうとしている。規制
委員会が認可すれば動かせるのです。

美浜3号機は明日、11月16日にでも認可がでるようだ。(実際の運転は
2020年3月以降)

2016年4月14日に高浜原発1・2号炉の運転期間延長認可の取り消しを求
める・名古屋地裁一次訴訟(行政訴訟)の概要も話された。2回目の10月26
日には2名の意見陳述があり。3回目は2017年2月1日。
勝訴判決が確定すれば、高浜1・2号機は廃炉。

そのために

- 1、新規制基準の不合理性を明らかにする
- 2、規制委による審査の実態を明らかにする
- 3、老朽・旧式原発の危険性を明らかにする
- 4、様々な問題を指摘できる枠組み
- 5、世論を見方につける

という戦略で、40年越えを何とかして止めてゆきたいと発言されました。

◆美浜の会の小山英之さんは

○美浜3号は断層の巣の中にあり、現行の地震動評価は二重の過小評価を

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

もたらしている。入倉・三宅式と壇他の式に代えて、武村式と片岡他の式を用いて基準地震動を再評価すべき。
 入倉・三宅式を用いて計算した基準地震動の変化
 ・大飯原発(FoA-FoB-熊川断層:横ずれ、片岡他2)856ガル⇒4780ガル
 ・高浜原発(大飯と同じ、片岡他2) 396ガル⇒2210ガル
 ・美浜原発(C:逆断層、片岡他1) 993ガル⇒2840ガル
 これだけ現状は過小評価になっている。

○美浜3号機電気ケーブルの絶縁低下の危険性
 東電の電気ケーブルで火災発生。35年で経年劣化し、絶縁低下したことが原因らしい。原発では事故時に絶縁低下が急速に進み情報収集も制御もできないという恐れが生じる。
 しかし、その劣化を事前に把握することは困難。運転期間延長認可に係わる極めて重要な問題。規制委員会は電気ケーブル絶縁低下の具体的な判断基準を持っていない。

◆避難者からのアピール(浪江町から避難されている菅野みずえさん)

[2部]避難計画では国民の安全は守れない

- ◆福井県若狭町等での安定ヨウ素剤事前配布を求める活動
- ◆福井・京都での防災訓練監視の報告

[3部]廃炉署名集約と各地の運動の交流、今後の取り組み

- ◆廃炉署名集約
- ◆各地から参加それぞれ取り組みを報告し交流した。
- ◆11月15日滋賀県に提出 集会后関西広域連合長兵庫県知事にも提出することになった。
- ◆集会アピール採択

(以下アピール文)<http://www.jca.apc.org/mihama/hairo/appeal161113.pdf>
 原子力規制委員会は、高浜原発1・2号機に続き、美浜原発3号機についても、40年を超えた運転を認める認可を今月中にも出そうとしています。
 福島第一原発事故の教訓から法制化された「原発の運転期間40年」という原則は早くも形骸化し、厳格であるべき法的手続きも、期限が優先され軽視されています。
 地震列島の日本で原発を稼働することの危険性は言うまでもありません。ましてや40年以上前の古い設計で造られ、取り替えできない圧力容器や電気ケーブル等が劣化した老朽原発の寿命延長は、あまりに無謀です。

さらに、この半年余りの間にも、原発の安全性を揺るがす新たな問題が次々と指摘されています。
 熊本地震では、原発震災が起きた場合、避難手段やルートの確保は難しく、屋内退避も非現実的であることが証明されました。
 そして、耐震安全性については、繰り返しの強震動による原発機器への影響が考慮されていないこと、基準地震動の算定に採用している計算式では著しい過小評価になること等も明らかになりました。
 また、福井県や京都府で行われた重大事故を想定した防災訓練は、福島原発事故を省みることもなく、リアリティに欠けたものでした。原発災害対策の困難さ、行政の能力の限界が浮き彫りになりました。
 フランスで発覚した日本鑄鍛鋼(株)製の原子炉圧力容器や蒸気発生器といった安全上非常に重要な機器の部材の強度不足の問題についても、日本では実機の検査をしないまま稼働が許されています。
 こうした多くの問題を抱えながら、関西電力は会社の利益を優先し、老朽原発にムチ打つ計画なのです。
 ひとたび原発の重大事故が起きれば、拡散した放射能が容赦なく大地や海に降り注ぎます。被ばくによる健康被害の問題だけでなく、人々の暮らしや人生さえも奪ってしまうのです。私たちはそのことを福島で起きている現実や避難を余儀なくされた方の体験からも学びました。
 若狭の原発で事故が起きれば、風下地域である中京圏は計り知れない被害を被るでしょう。この地域で永々と続いてきた人々の営みや歴史・文化も失われます。何より関西圏1400万人の命の水源である琵琶湖が放射能で汚染されたら、代わりになるものはありません。

福島原発事故の悲劇を繰り返さないためにも、私たちはまず、極めて危険な老朽炉である美浜原発3号機の運転期間延長認可の手続きを中止し、高浜原発1・2号機とともに廃炉にすることを求めます。
 そして、「40年ルール」の例外を一機たりとも許さず、一日も早く脱原発社会を実現するためにこれからも取り組んでいくことを誓います

思いを同じくする人たちとともに、頑張りましょう！

2016年11月13日
 「琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号機も廃炉に！」11・13琵琶湖集会 参加者一同

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民 守 正義(08/21)
 そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora (12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora (09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziwarayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2016年11月 >

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

~~~~~

■ 高浜1・2号機、美浜3号機の廃炉を求める署名  
26,151筆(11月14日現在 / 第一次と第二次集約合計) 集まったそうです。  
原子力規制委員会委員長、福井県知事、関西広域連合委員会委員(各府県知事)全員に届けられます。(滋賀県以外は署名の枚数を記載した鏡を提出)

■ 老朽原発美浜3号機の問題については、下記ブログにも取り上げています。  
<http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/archive/201608/1>

原発がこわい女たちの会  
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ  
記事の投稿  
管理  
RSS  
ログアウト

2016-11-15 | 記事へ | コメント(0)

2016年11月08日(火)

## 汐見文隆先生、ありがとうございました

BLOGariは2017年1月末  
サービス終了します



11月3日、抜けるような青空が広がる文化の日、汐見文隆さんを偲ぶ会がありました。和歌山市勤労者センター6階ホールにて、参加者107名でした。送られてきた案内状から一部引用してみます。

公害問題や低周波音被害の研究に尽力されてこられた内科医で、「和歌山から公害をなくす市民のつどい」世話人代表の汐見文隆さんが3月20日に92歳でお亡くなりになりました。汐見さんは常日頃から、「苦しんでおられる方がおられたら、その苦しみを取り除いてあげるのが医者としての私の責務です」と語っておられました。166回の「公害教室」を重ねてこられた、汐見文隆さんを偲んで167回の「公害教室」を開催したいと思います。

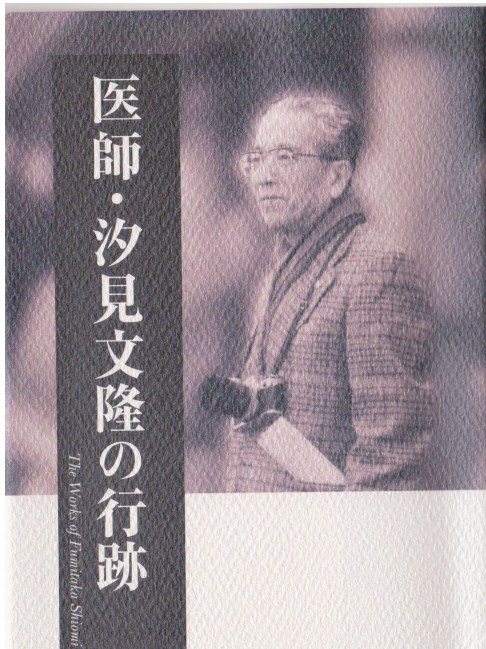
「公害教室」は、公害問題の学習の場として1972年に第1回が開催されて以来、2002年まで続けられましたが、この間、火力発電所、住金埋立て、森永ヒ素ミルク、海洋汚染、みかん農家の農薬被害、食べ物の安全、たばこ問題、原子力発電、低周波公害等々、地域に根ざすことから全国地球レベルのことまで、テーマの幅広さと講師の多彩さには圧倒されます。会場では、当時の公害教室の案内ハガキや写真など貴重な資料が、掲示やパワーポイント上映も行われました。

「公害運動の原点は学習にある」の理念に貫かれた質の高いものだったのですが、学習だけに終わることはありませんでした。学んだ人たちが、或いは汐見さんご自身が原発現地の闘争などに関わってこられました。

また汐見さんは、市内のメリヤス工場から発生する得体のしれない公害に苦しむ被害者に遭遇したことから(1974年)、低周波音被害の解明と被害者の救済にライフワークとして取り組まれてきました。これは「風力発電の被害を考える会・わかやま」の運動としても引き継がれているところです。

なお遺稿集『医師・汐見文隆の行跡』には、これらの膨大な記録が収められており、当日の参加者に配付されました。この大変貴重な文献の編集、出版に関わっていただいた皆さまに、深く感謝！！です。





編集 和歌山から公害をなくす市民のつどい

発行所 寿郎社

発行日 2016年10月31日

◆本書は、1)「和歌山から公害をなくす市民のつどい」と公害教室、2)低周波音被害を追って—低周波音症候群から風力発電公害へ、3)汐見文隆著作目録、の3部で構成されている。

なお本書は非売品だが、汐見文隆・著『低周波音被害を追って』が寿郎社より同日発売されています(定価1900円)。

今回の偲ぶ会は「第167回公害教室・最終章」と銘打たれているように、前段15分は、残された汐見さんの映像による低周波音被害についての授業。低周波音、超低周波音の特徴、低周波被害には右脳と左脳の聞え方の違いが関与するらしいこと、風車の低周波被害は明らかな外因性であること、などが語られました。DVD「風力発電の羽根の下で」参照。後半に汐見さんの講義があります。

<https://www.youtube.com/watch?v=9cRVf8w6CaA>

会の後段は県内外から集まれた方々から、それぞれの分野での足跡を振り返るお話をお聞きました。どの方も汐見さんをリスペクトの念で超人的といってもよいその功績と運動の位置づけを語られました。人選も大変だったようですが、お話しも尽きない感があって、終了予定時刻を大幅に過ぎてしまいました。

今中哲二さんは、(自分は原発のことだけだが)汐見さんは多様なジャンルの活動をされる「デパートのような人」だった、とスピーチされたが、誰もそう思ったにちがいません。

そのほかの方々とくに印象に残った言葉を拾い出しておきます。  
 「汐見さんは内科のお医者さんだが社会のお医者さんでもあった」  
 「無視されてきたエネファームによる低周波音被害を、初めて理解して励ましていただき、頭をあげて立ち向かっていく勇気を持つことができた」  
 「98年ごろから原発の新設がパツタリ止まったのは、その10年前の日高、日置川等の原発計画阻止のおかげ。和歌山の反対運動はそれぐらい大きな意味があった」  
 「日高はおかげで原発の町から今はクエの町になった」  
 「今日はネクタイをして来ようかどうか迷った。何事にも縛られるのが嫌いな方だったから(笑)」  
 「クールできびしい方だったが、やさしさも持ち合わせておられた。奥様の恵さんのことを“同志”といわれた」

会場にはご親族とともに汐見恵さんも車いすで参加され、じっと見守っておられました。恵さんは長年、原発がこわい女たちの会の代表世話人として手腕を発揮されたのですが、汐見文隆さんにも会の運営を陰ながらサポートしていただきました。ともにありがとうございました。

公害はまだ終わっていない、原発もこれから、です。残された課題は大きいですが、汐見さんの遺志を継いで最後まで運動を持続していこう、というのが私たちの共通するおもいです。

女たちの会では、ニュース97号に汐見さん追悼の記事を載せています。下のブログからでもご覧いただけます。

<http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/archive/201604/1>

---

2016-11-08 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#) |

